

請 願 文 書 表
(令和2年第3回定例会)

請願第4号の1	令和2年8月27日受理
付託委員会	福祉常任委員会
件名	新型コロナウイルス対策の継続と拡充を求める件
紹介議員	植田進議員
請願要旨	<p>世界の新型コロナ感染者は2,366万人を突破。死者数は約738,000人に増加。アメリカ、ブラジルなどを始め、世界的に歯止めがかかっていません。また、ワクチン開発も実用化と世界流通まで、まだ時間がかかりそうな状況です。</p> <p>日本でも7月に入り感染者が全国的に再増加し、その傾向は続いています。国内の感染者は64,000人。死者は1,200人を超えています。</p> <p>八千代市でも8月26日現在で、感染者が延べ113人となり、6月時点での16人から2か月で7倍以上となっています。ついには市内の認可外保育施設と小規模保育事業所の2施設でクラスターが発生し、園児8人を含む計15人の感染が公表されています。このように感染者は県内で8番目に多く、市民の不安は解消されずに、むしろ増幅されています。市民の命と健康を守る行政努力が今ほど求められている時はありません。</p> <p>また、コロナ禍による経済活動の停滞は、とりわけ中小企業や個人事業者に深刻な打撃を与えています。八千代市商工会議所の話では、特に飲食店の約9割が大幅な減収に苦しんでいるということです。さらには、厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症に関連する解雇や雇い止めは8月21日時点で48,200人と発表しましたが、実態はさらに多いとされています。生活困窮世帯や生活保護世帯も増加しています。</p> <p>これらの状況に、国の支援制度が実施されつつも、まだまだ不十分であり、コロナ禍支援の拡充と継続が求められているのに、肝心の国会は閉じられたままです。</p> <p>各自治体においても、独自施策を実施している自治体も多い状況ですが、国から「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が交付され、八千代市には約14億5千万円の交付が見込まれるとのことですが、臨時会、6月議会、専決処分で示されたコロナ対策の予算はまだ約7億円程度で、約半分の</p>

請 願 文 書 表
(令和2年第3回定例会)

使い道がこの9月議会で示されると聞いていますが、市民にはまだ示されていない状況です。早急にコロナ対策のための施策を市民に示していただきたいと思っております。

また、新型コロナウイルスの感染状況をみると、まだまだ続く可能性が高く、それらの状況を踏まえるならば、交付金を有意義に活用するべきは言うまでもありません。長期化が見込まれるコロナ禍に鑑みれば、対策の予算を交付金に限定することなく、財政調整基金などの活用も含めて、より積極的なコロナ対策を求めるものです。

【請願内容】

1 PCR検査体制の拡充

- ① 市内の保育園、幼稚園、介護施設、高齢者施設などの職員、通所者へのPCR定期検査の実施。
- ② 八千代PCRセンターや、市内医療機関のPCR検査受け入れの拡大強化。

2 コロナ禍に対する支援制度の継続と拡充

- ① 新生児新型コロナウイルスの感染予防助成制度を継続し、新たに1世帯10万円給付する。
- ② ひとり親家庭緊急支援事業臨時給付金の給付を継続し、3万円から増額して新たに支給する。
- ④ コロナ禍で経営難に苦しむ市内医療機関への経営支援に取り組む。